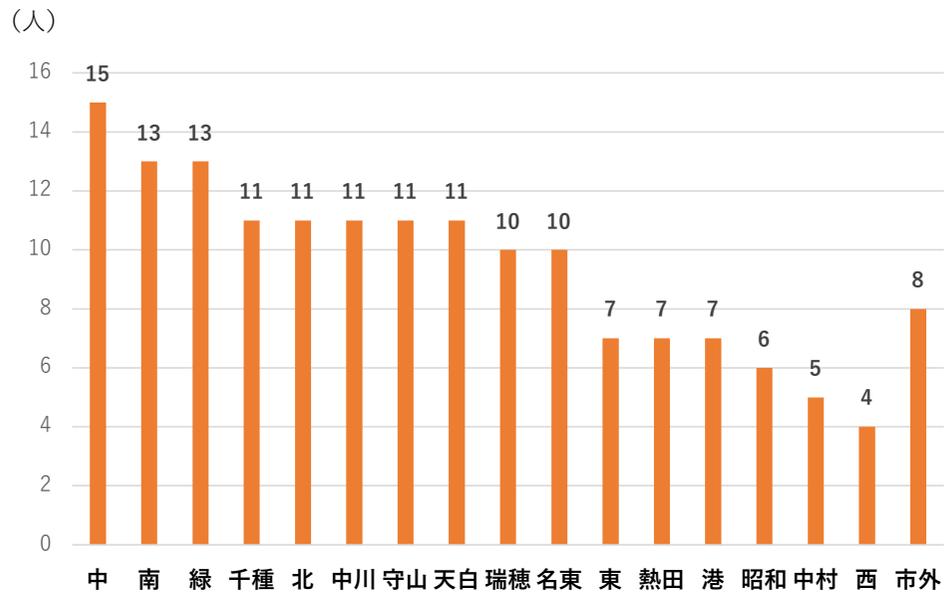


令和3年度 なごや在宅医療・介護連携ハンドブック活用研修会

令和4年3月19日（土）14-15時 WEB開催 参加者 160名

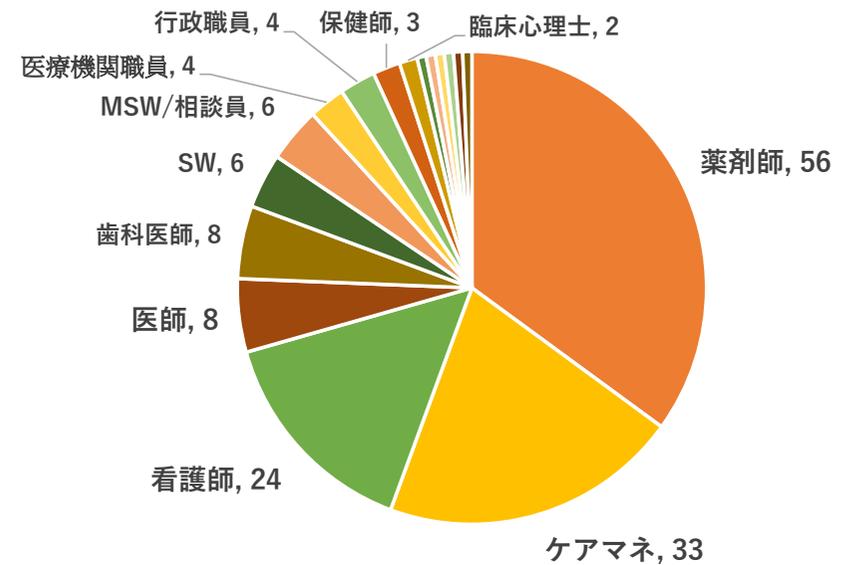
研修会参加状況

事業所所在区別 参加者数



n = 160

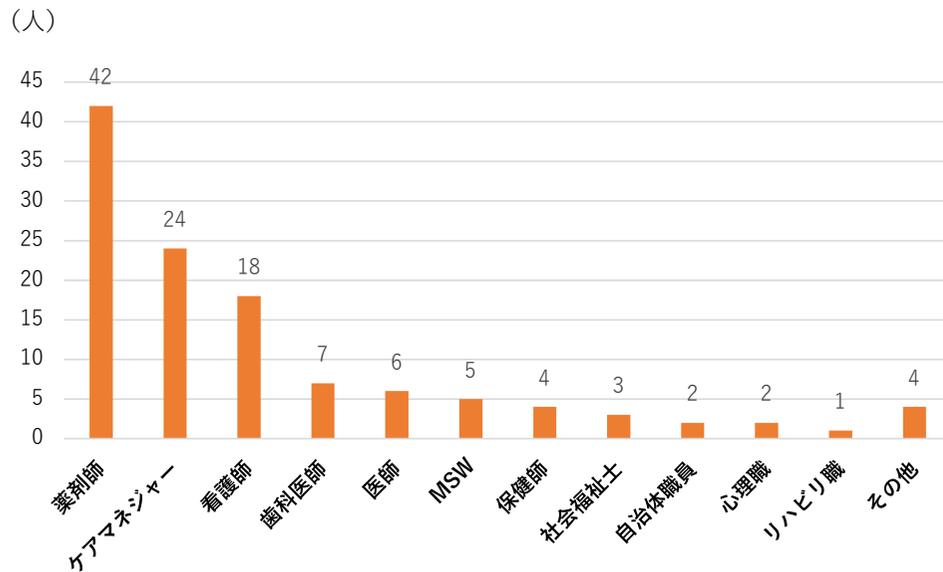
職種別参加者数



※1名参加職種：PT/OT/ST/PSW/施設職員/その他 n = 160

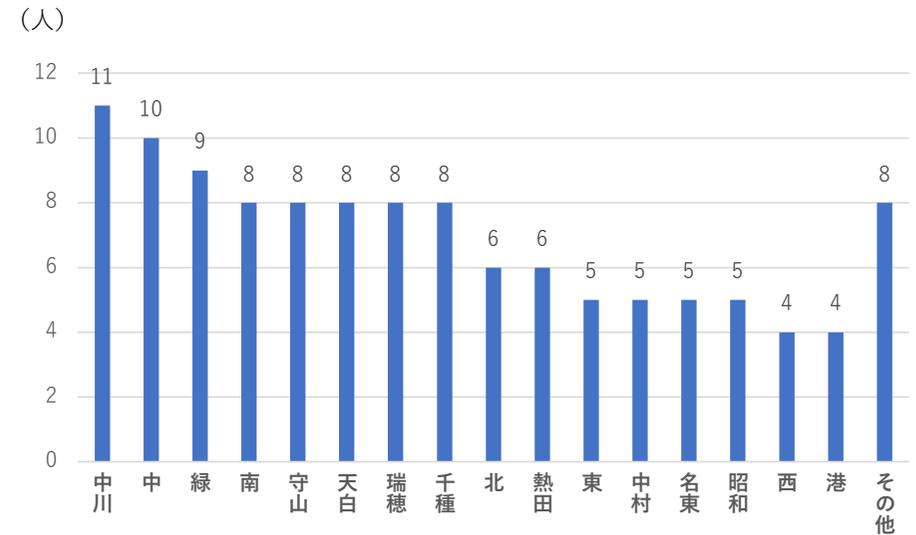
なごや在宅医療・介護連携ハンドブック活用研修会 アンケート結果 回答総数 118 (回答率 73%)

Q1. 職種



n = 118

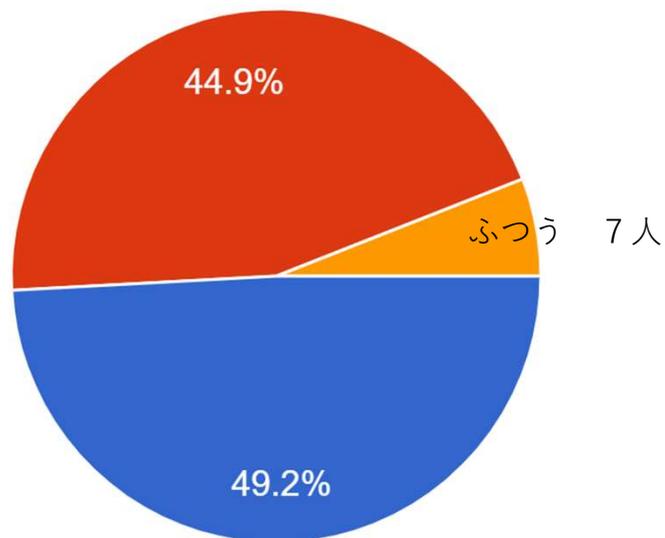
Q2. 勤務先所在区



n = 118

Q3. 講義内容について

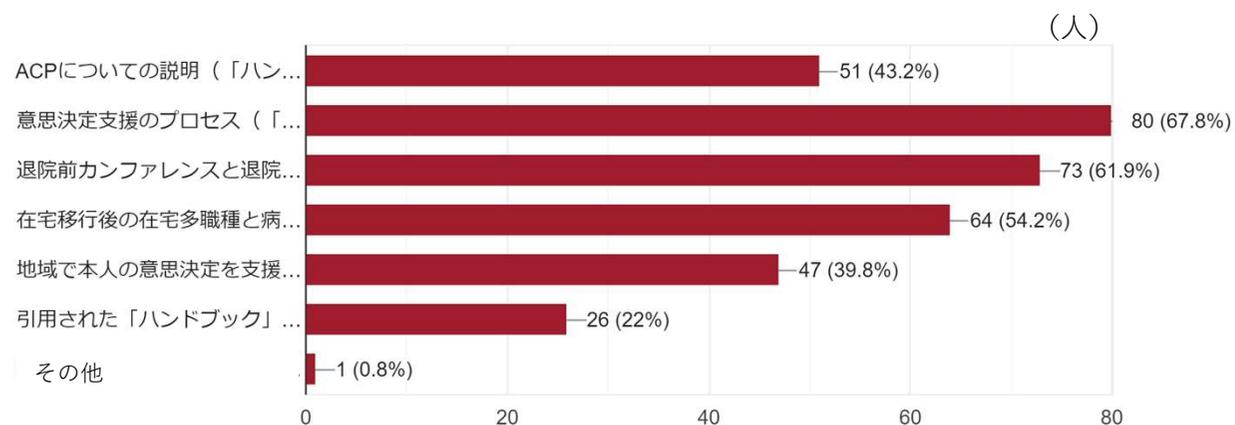
分かりやすかった 53人



非常に分かりやすかった 58人

n = 118

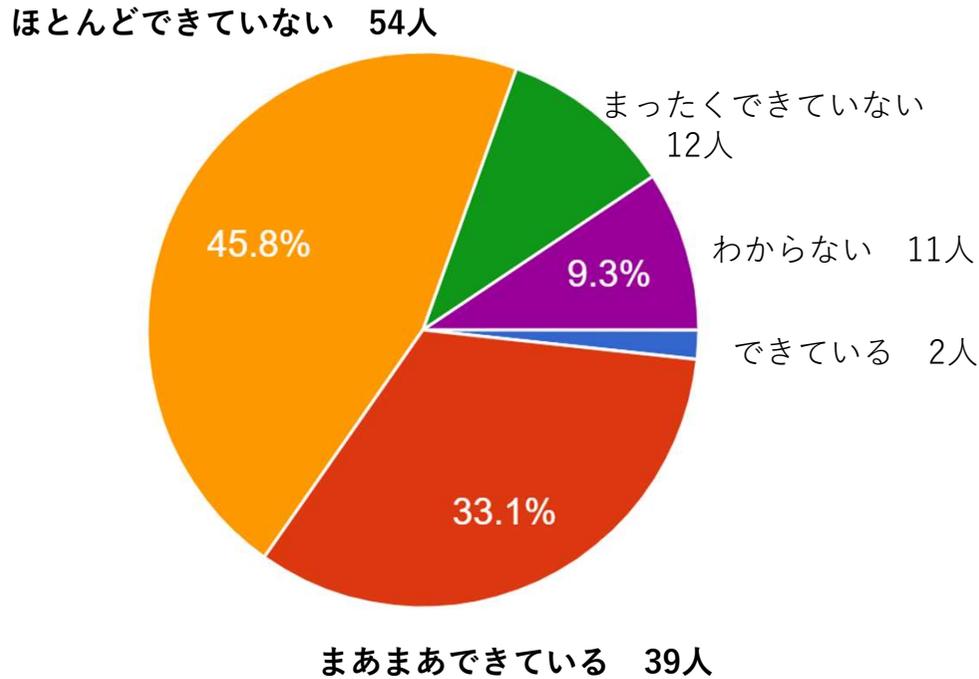
Q4. 講義で関心を持った内容（複数回答）



【凡 例】上から

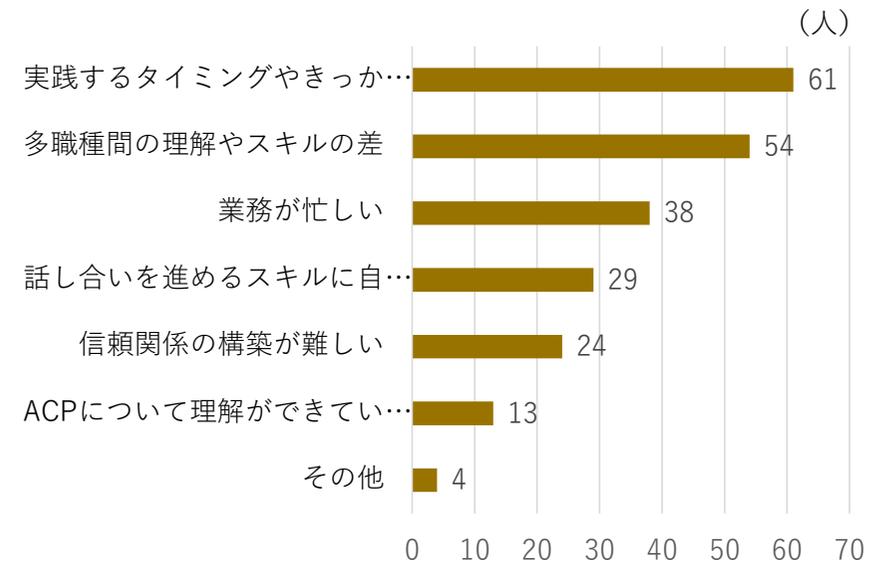
- ・ACPIについての説明（ハンドブック）、厚生労働省、日本老年医学会、各種ガイドラインによる説明）
- ・意思決定支援のプロセス（「本人との話し合い①②」）
- ・退院前カンファレンスと退院時の連携
- ・在宅移行後の在宅多職種と病院の連携
- ・地域で本人の意思決定を支援する取組み（「地域力強化検討会資料」）
- ・引用された「ハンドブック」の内容全般
- ・その他

Q5. 現状のACP実践について



n = 118

Q6. 実践にあたり難しい点 (複数回答)



【凡 例】 上から

- ・実践するタイミングやきっかけが分からない
- ・多職種間で理解や意欲・スキルに差がある
- ・業務が忙しい
- ・本人と話し合いをすすめるスキルに自信がない
- ・信頼関係の構築が難しい
- ・ACPについて理解ができていない
- ・その他

Q7. 「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」について

